

茶情報

No. 186 号 令和8年2月1日
発行所 三重県茶業会議所
三重県津市栄町1丁目960番地
JA三重ビル7階 JA全農みえ内
TEL (059) 226-8551
FAX (059) 227-9654



新春メッセージ

三重県知事 一見 勝之

新年あけましておめでとうございます。

令和8年の新春を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。

三重県茶業会議所の皆様には、日頃より伊勢茶の産地振興にご尽力をいただき厚く御礼申し上げます。

三重県は、鹿児島県、静岡県に次ぐ全国第3位の生産量を誇る歴史ある茶産地であり、茶は本県の主要な農産物です。

近年、健康志向や日本食への関心などを背景に、緑茶の海外需要が拡大しており、昨年は緑茶輸出額が過去最高を更新しました。外国人観光客が来日時に日本茶を楽しむインバウンド需要も増加してきています。

県では、こうした多様な需要の拡大に対応するため、生産者の皆様が進めておられます茶工場施設の整備や、経営の効率化に向けた園地の集約化などの取組を支援しています。

また、伊勢茶の新たな需要の創出に向けて、高校生が伊勢茶を楽しむアイデアを考え発表するコンテスト「Ise Cha Promotion Award」の開催や、飲食店と連携したプロモーションなどにも取り組んでおり、引き続き、生産者の「所得向上」と伊勢茶の「消費拡大」の取組を両輪で進めます。

本年は、関西茶業振興大会が8年ぶりに三重県で開催され、本県茶業にとって特別な年です。伊勢茶のブランド力を高める絶好の機会と捉え、品評会での上位入賞を皆様とともに目指してまいります。また、三重県誕生150周年という佳節を迎え、三重県の豊かな自然や先人たちが築き上げてきた歴史・文化・産業の一つである伊勢茶のさらなる魅力発信に取り組んでいきたいと考えています。

今後とも、茶業関係者の皆様、市町やJAとの連携をより深めながら、伊勢茶産地の振興を積極的に進めてまいりますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

結びに、三重県茶業会議所の皆様のご健勝、ご多幸を祈念し、新年の挨拶といたします。

目 次

1、新春メッセージ	1	ヴィソンでの伊勢茶のイベントに参画	8
2、会頭挨拶	2	伊勢神宮「初詣伊勢茶接待所」の開設	9
3、第48回伊勢茶振興大会を開催	3	高校生を対象としたお茶の淹れ方教室	9
4、トピックス		5、茶業会議所が事業主体となって進めている事業	
第79回全国お茶まつり奈良大会	7	(国等支援(補助金)事業)について	10
第77回関西茶業振興大会京都府大会	8	6、伊勢茶認証店	11



会頭挨拶

三重県茶業会議所 会頭 鎌田 隆郎

明けましておめでとうございます。

茶業関係者の皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素から三重県茶業会議所の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の茶の状況は、世界的な抹茶ブームやインバウンド需要の高まり等から、一番茶から秋番茶まで価格が高騰し、一番茶と秋番茶の価格が変わらない等これまでにない状況は、関係者は大きな驚きと戸惑い、さらに、今後の見通しに対する不安感も生まれました。

近年の需要変化の波が、全国の茶産地にも影響し、茶種の変換や生産・流通構造の変化をもたらすことは想定されていましたが、ここまで、早く、大きなものとなったことは想定を越えたと実感しています。

特に、高価格帯の茶の高騰や低価格帯の茶の品不足は、茶流通・販売関係者の自助努力では到底対応しきれないレベルとなっており、仕入れを静観している小売店の今後の状況や最終的な国内消費の落ち込みは非常に危惧するところです。

一方で、茶産地に目を向ければ、近年、担い手不足による茶園の荒廃化や茶園面積の減少、燃油や肥料等資材の高騰、茶単価安の厳しい状況となっていましたが、茶価格の高騰が、こうした状況を一転させ、荒茶加工場や管理機械の再整備等設備投資へ意欲が高まるとともに、これまでから取り組んできた諸課題の改善に対する活動や議論がにわかに活発になってきたように感じています。

茶の生産から流通・販売を担う私たちの業界としても、こうした状況を十分認識したうえで、こうした時期こそ、将来を見据えて、自らの経営計画の見直しを進めるとともに、販路の確保・拡大の計画、生産・構造改革に関与していくことが重要と考えています。

また、三重県では、「伊勢茶に親しむ暮らし推進条例」が制定される見込みとなっており、県内外の消費喚起のための各種イベントが今まで以上に積極的に展開されることが期待されています。第78回関西茶業振興大会三重県大会も開催され、関係者一体となった取り組みが実践されます。こうした取り組みにより、本年が本県茶業界の大きいなる飛躍の年となることを期待しています。

当会議所としても、さらなる需要の確保・拡大に向けて新たな潮流をしっかりとつかみ、茶産地や生産者に寄り添いながら、国内外の多くの消費者の皆さんに安全で安心な伊勢茶を飲んでいただけるよう、関係者一同が一丸となり取り組んでまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、今年こそ茶業界にとりまして輝かしい発展の年になりますとともに、皆様方の益々のご健勝とご活躍をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

第48回伊勢茶振興大会を開催

第48回伊勢茶振興大会が、令和7年11月26日（水）三重県津市の「プラザ洞津」で開催されました。

当日は、渡辺安宣東海農政局次長、野呂幸利三重県副知事、服部富男三重県議会議長をはじめ多数の御来賓の御臨席をいただき、約100名の茶業関係者が参加し盛大に開催されました。



【茶業功績者表彰】

第48回伊勢茶振興大会では、地域の茶産地でご活躍いただき功績のあった次の3名の方が茶業会議所から表彰されました。

令和7年度茶業功績者功績概要

・大 西 英 夫 氏 76歳 大台町上楠

【経歴】 大台町茶業組合 理事（平成11年～現在）

第53回（H11）全国茶品評会 普通煎茶10kgの部 農林水産大臣賞受賞

第64回（H23）関西茶品評会 普通煎茶の部 農林水産省生産局長賞

第65回（H24）関西茶品評会 普通煎茶の部 農林水産省生産局長賞

【業績】 茶業における地域振興にも尽力し、大台茶の普及ならびに大台茶を全国に知らしめた功績は多大である。

各種品評会に出品され、上位入賞を果たし、大台茶の品質及び知名度向上に寄与した。

・中 村 順 一 氏 77歳 度会町棚橋

【経歴】 度会町茶業組合 組合長（平成15年～平成18年）

度会町長（平成19年～令和元年）

第54回（H13）関西茶品評会 普通煎茶の部 全国茶生産団体連合会長賞

【業績】 度会町茶業組合長として茶業組合をまとめ、地域の振興に携わるなどその功績は多い。

各種品評会に出品され、上位入賞を果たし、度会茶の品質及び知名度向上に寄与した。

・畠 中 藤 治 氏 78歳 度会町立岡

【経歴】 度会町茶業組合 組合長（平成19年～平成20年）

第43回（H29）伊勢茶品評会 深蒸し煎茶の部 農林水産省生産局長賞

【業績】 度会町茶業組合長として茶業組合をまとめ、地域の振興に携わるなどその功績は多い。

各種品評会に出品され、上位入賞を果たし、度会茶の品質及び知名度向上に寄与した。



茶業功績者 大西氏、中村氏、畠中氏

【伊勢茶品評会表彰】

第48回伊勢茶品評会で入賞された、1等に9名、2等に10名、3等に17名、及びそのなかで特別賞を受賞された方々を振興大会において褒賞授与を行いました。

なお、1等1席となった普通煎茶の部 中西一浩様（農林水産大臣賞/三重県知事賞）、深蒸し煎茶の部 西村一馬様（農林水産大臣賞/三重県知事賞）、かぶせ茶の部（有）萩村製茶 萩村和樹様（農林水産省農産局長賞/三重県知事賞）、1等2席となった普通煎茶の部 中西由莉恵様（東海農政局長賞/三重県議会議長賞）、深蒸し煎茶の部 西村陽子様（東海農政局長賞/三重県議会議長賞）、かぶせ茶の部（有）萩村製茶 萩村重美様（日本茶業中央会賞/三重県議会議長賞）ほか特別賞受賞者は前号（第185号）で掲載させていただきました。

なお、今大会には、三重県副知事、三重県議会議長が出席いただき、直接褒賞授与していただきました。



農林水産大臣賞受賞 中西氏、西村氏



三重県知事賞受賞者

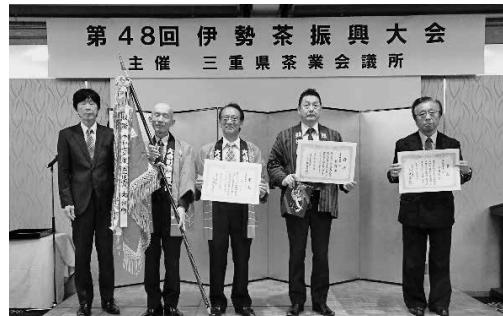


三重県議会議長賞受賞者

【産地賞表彰】

関西茶品評会及び伊勢茶品評会での評価点数を加味した総合評価で次の市町が産地賞を受賞されました。大台町は、平成22年依頼15年ぶりの1位となりました。

- 1位 大台町
- 2位 松阪市
- 3位 四日市市



【伊勢茶振興大会宣言】

県茶生産青年会 会長 矢田 敦裕さんが提案者となり、茶業会議所の今後の取り組み方針・意識統一を図るため大会宣言が満場一致で採択されました。



第48回伊勢茶振興大会宣言（一部抜粋）

将来を担う次世代の後継者が自信と誇りを持って茶業に携われるよう産地基盤を強化するとともに、消費者の信頼に応える伊勢茶づくりを一層推進します。

- 一 私たちは、多くの関係者の皆さんと協力して、国内外の消費動向に注目しつつ、様々な方々に幅広い観点でお茶の愉しみ方を提案し、新たな緑茶のファンづくりや伊勢茶のブランド化推進に取り組みます。
- 一 私たちは、需要に沿った新品種や新技術の導入、土づくりなど持続可能な茶業を推進するとともに、茶産地の将来の設計図となる地域計画の樹立などを積極的に進めて、特徴ある良質な伊勢茶の生産基盤強化に努めます。
- 一 私たちは、安全・安心なお茶を提供による消費者との信頼関係を築くため、食品表示法に基づく表示基準を遵守し、生産履歴記帳の継続とともにGAPやHACCPなど品質管理に取り組みます。

【研修会】

大会に続いての研修会では、一つ目の項目として、「伊勢茶に親しむ暮らし推進条例（中間案）について」と題しまして、三重県議会伊勢茶の振興に関する条例策定調査特別委員会 委員長 中瀬古 初美様に講演をいただきました。



中瀬古様は、お茶の主産地の一つである松阪市選挙区選出の県議会議員で、昨年度、県議会に設置された伊勢茶の振興に関する条例策定調査特別委員会の委員長として、積極的に県内外の調査等に取り組み、伊勢茶の振興のための条例策定にご尽力されており、その条例案が、広く公に意見等を聞く「パブリックコメント」の段階に至り、その詳細を委員長

自らが茶業関係者の皆様に直接説明していただきました。

全国の茶の主産地である府県や市町村では何らかの茶に関する条例が制定されており、ようやく本県にも出来たとの思いもありますが、多くの茶業関係者からよく聞かれる「まずは、消費拡大、子どもの頃から親しむ」、「お茶の文化、歴史、くらしを大切にしたい」との声が十分に反映されている中間案だと思います。

会場では、条例制定、出される具体的な県の施策が楽しみだとの声も聞かれました。

伊勢茶に親しむ暮らし推進条例（中間案） 概要

前文（背景）
R8.4.1から施行

- ・歴史と伝統ある伊勢茶は、現代においても三重県の主要な農産物
- ・国内での緑茶消費量が減少する一方、海外需要の増進等といった消費拡大の気運の高まりもみられる
- ・このような中、伊勢茶の歴史と伝統の継承、新しい伊勢茶の親しみ方の創出等がなされるよう、伊勢茶に親しむ暮らしの推進を図っていく



条例の目的

伊勢茶の普及の促進及び
伊勢茶に親しむ機会の確保
の2本柱により、伊勢茶に親しむ
暮らしの推進を図る
→伊勢茶の振興に寄与

この条例における「伊勢茶」

この条例において「伊勢茶」とは、
県内で生産された茶葉を用いたお茶をいう
※ 緑茶のみならず、ウーロン茶、紅茶等も広く対象
※ いかなる名称であるかを問わない

基本理念

- 伊勢茶の普及の促進
 - ・様々な場において伊勢茶に親しむ環境を整備
 - ・伊勢茶の価値向上及び消費拡大を図る
- 伊勢茶に親しむ機会の確保
 - ・伊勢茶の伝統と文化に関する知識等の普及と併せ、
県民が伊勢茶に愛着を持つことにつなげる

役割等

- 県の責務 ○茶業者の役割
- 茶業団体の役割
- 飲食店営業者等の役割
- 茶業者等への支援
- 県民の協力等 ○市町との協働
- 連携協力体制の整備

推進計画

伊勢茶の普及の促進及び伊勢茶に親しむ機会の確保に関する施策の推進を
図るために、伊勢茶に親しむ暮らしの推進に関する計画を策定
※ 現行の「伊勢茶振興計画」と一体に策定することを想定

基本的施策

- 伊勢茶の普及の促進
 - ・飲食店営業者等による伊勢茶の販売等の促進
 - ・伊勢茶等による乾杯の取組の促進
 - ・伊勢茶の普及宣伝等の強化
 - ・伊勢茶の新たな需要の開拓の促進 ・伊勢茶の輸出の促進
- 伊勢茶に親しむ機会の確保
 - ・学校、家庭、地域等における伊勢茶に親しむ機会の確保
 - ・伊勢茶学に基づく食育の推進
- 顕彰
- 伊勢茶初摘みの日（八十八夜）※おおむね5月2日
- 伊勢茶に親しむ月間（11月）



2つ目の項目では、いよいよ本年に開催される第78回関西茶業振興大会の開催計画や準備状況などが同大会準備委員会事務局を代表して、茶業会議所後藤常務より説明がありました。

近年、同大会のメイン事業である関西茶品評会への県内生産者の出品意欲が低下しているのが現状であっても、全国3位、関西1位の茶の主産地として、関係者一丸となって開催県の役割を果たすことや大阪関西万博等により関西地域の注目度の高まったこの機会にさらなる伊勢茶のブランド化に取り組むことが報告されました。

なお、この内容は、1月下旬に開催される同大会実行委員会で正式決定されます。

● 第78回関西茶業振興大会の開催計画（案） ●

- 1 関西茶品評会出品茶審査会
令和8年8月5日（水）～8月7日（金）三重茶農業協同組合
- 2 関西茶品評会出品茶入札販売会
令和8年9月3日（木）鈴鹿農業協同組合
- 3 第78回関西茶業振興大会
令和8年11月14日（土）BANKYO文化会館（多気町民文化会館）
- 4 茶消費拡大イベント
令和8年11月14日（土）ヴィソン

【懇親会】

研修会に引き続き行われた懇親会には、招待した茶業功績者3名をはじめ約50名の方が参加いただき、充実した情報交換の場となりました。

トピックス

(10月以降の主な出来事)



第79回全国お茶まつり奈良大会

11月29日（土）奈良県コンベンションセンターで第79回全国お茶まつり奈良大会が開催されました。

全国茶品評会では、本県からの出品茶は、かぶせ茶の部で3等が1点と残念ながら上位入賞は果たせませんでした。

農林水産大臣賞受賞者の落札単価は、てん茶で2百万円/kg、玉露も百万円/kgを超え、全茶種の平均落札単価が前年の1.5倍の57,029円/kgとなるなど品評会の場においても茶価格の高騰がみられました。

全国茶生産青年の集いにも本県茶生産青年会代表チームが参加しました。

消費拡大イベントは、大和茶の魅力発信イベントとして、5月27日～29日大阪関西万博会場内と11月30日奈良公園等で行われました。





第77回関西茶業振興大会京都府大会

11月15日（土）京都府宇治市文化センターで第77回関西茶業振興大会京都府大会が開催されました。

関西茶品評会では、平均落札単価が前年度の約2倍となるなど全国茶品評会と同様に茶価格の高騰が見られました。

本県の出品茶は、深蒸し煎茶の部において、1等1席 農林水産大臣賞に松阪市(有)茶工房香肌寺岡 広治様、1等2席 農林水産省農産局長賞に松阪市(有)ヤマキ高橋製茶園 高橋 恵子様が受賞するなど、1等2点、2等8点、3等14点と多くの本県出品茶が受賞しました。

また、深蒸し煎茶の部 産地賞1位に松阪市、普通煎茶の部 産地賞3位に大台町が入賞しました。

恒例の茶消費促進イベントは、宇治市文化センターで各産地のお茶の飲み比べなどのイベントが実施されました。



ヴィソンでの伊勢茶のイベントに参画

11月1日～11月9日に多気町の商業リゾート施設「VISON（ヴィソン）」で、伊勢茶の歴史や製法に触れながら商品や加工品の魅力を知ってもらう「伊勢茶フェス in VISON 2025」が開催されました。

今回は、茶業会議所として、2日～3日開催の「利き茶クイズ&茶柱タツの塗り絵」、1日～3日開催の「おいしい伊勢茶の淹れ方講座」に参画協力しました。

また、11月1日には、高校生を含む次世代への「伊勢茶」の認知度向上や消費拡大を目的として、県が実施したICPA（Ise Cha Promotion Award）の発表コンテストがありました。

県内の高校から「イベント企画部門」「デザイン部門」「創作料理部門」の3部門に分かれて「伊勢茶」の魅力を引き出すアイデアをデザイン案の掲示や試食提供等を交えてプレゼン発表などを行いました。





伊勢神宮「初詣伊勢茶接待所」の開設

伊勢神宮外宮において、県茶業青年団と県茶生産青年会のメンバーを主体として初詣伊勢茶接待所（12月31日～1月2日）を開設しました。

奉仕事業でもあるので出来る範囲での活動を原則としながらも、会員以外への協力を呼びかけ、食文化を研究する地元大学生等の協力も得て実施し、多くの県内外からの参拝客に喜んでもらうことが出来ました。



高校生を対象としたお茶の淹れ方教室

毎年、茶業会議所主催で、三重県茶業青年団が実施している高校生を対象としたお茶の淹れ方教室が1月15日からスタートしました。

本年度は、17校の要望があり、茶業青年団員が講師として各自工夫しながら対応しています。

実施予定校

- 1月 あけぼの学園高校、桑名北高校、
四日市農芸高校、久居農林高校、
四日市商業高校（3年）、
四日市四郷高校、松阪高校、
稻生高校、相可高校、
いなべ総合学園、四日市西高校、
メリノール学院中学校
- 2月 四日市商業高校（1年）、菰野高校、
鳥羽高校、くわな特別支援学校
- 3月 みえ夢学園高校、桑名高校：定時制



茶業会議所が事業主体となって進めている事業 (国等支援(補助金)事業)について

三重県茶業会議所では、会員の経営支援のため、市町、JA等茶業組合の事務局の方の協力を得て、茶の改植等事業や茶セーフティネット構築事業を事業実施主体として実施しています。また、その補完的な事業として産地生産基盤パワーアップ事業の事業実施主体にもなっています。

これは、生産者や生産者団体が、県や市町を経由せず（県、市町が事業実施主体になれない）直接国へ申請するような補助事業の増加への対応や地域事情（地域に数件しか茶農家がおらず、5戸要件とかをクリアできない等）への配慮等種々の課題について、産地として取りまとめて整理、要望してくれたために、茶業会議所が主体となって対応することが効果的かつ効率的と考えて実施しているものです。

加えて、補助事業の応募に当たっては、「需要に応じて生産し、経営を安定すること」が重要な要素となります。当会議所は、茶市場や茶商工業者も会員であることから、その情報共有等を組織内で実施できる強味を活かせています。

以下に、現在実施中の事業や取り組む可能性のある事業について紹介させていただきます。

(1) 茶・葉用作物等地域特産作物体制強化促進（地域の生産体制強化・需要創出事業）

本県では、改植等事業と呼んでいるのですが、老朽化した茶園等有望な品種に改植する際の経費や改植に伴う収入減となる経費を面積に応じて支援（定額補助）することを主な目的としていますが、新植、台切り、有機栽培への転換、輸出対応茶への転換、てん茶の被覆資材への支援、茶園整理への支援等で実施が想定される茶園管理にきめ細かく対応した支援措置が講じられています。

また、この事業では、農業機械リース事業にも取り組むことが出来、かつ、令和7年度から、茶の生産性向上やエネルギーコスト削減に資する生産・加工機械等のリース導入の取組が拡充され、乗用摘採機や乗用防除機等の管理機も対象となりました。

乗用管理機の導入については、会員の要望も多いことから、改植等事業と併せて積極的に事業推進しています。

(2) 産地生産基盤パワーアップ事業（園芸作物等の先導的取組支援）

改植・新植、未収益期間の幼木管理支援等として、優良品種への改植、有機栽培・てん茶への転換、未収益期間の幼木管理、防霜ファンの導入、農業機械等のリース導入を支援する事業で、ほぼ上記（1）と同じメニューですが、異なるのは、改植・新植の支援が（1）の事業では定額補助（改植15.2万円/10a、新植12万円/10a）であるのに対して、こちらは経費の1/2以内を補助するしくみになっている点になります。重機による工事や植付作業等を外部委託する生産者からは、こちらの方がメリットありとの声も寄せられています。

(3) 茶セーフティネット事業

三重県茶業会議所が支援対象者となって、令和4年度から再実施し、現在2期目の期間（令和7年度から9年度）として93工場が加入し、荒茶工場で使用されるA重油、LPガス、LNGの価格高騰に対して支援を行っています。

発動基準価格が毎年上昇しており、補填金額が一時期より減少していますが、7年度も毎月基準価格を越えており補填金が支払われました。

来年度からは、支援対象期間が4~10月から3月~11月に拡充され、7年度のように秋番茶が11月までかかるケースにも対応出来るようになりましたので、継続あるいは新規の加入の手続きをお願いします。

伊勢茶認証店（令和8年度～12年度認証期間）の募集をしています

伊勢茶をより多くの皆さんに愛飲していただくため、伊勢茶を販売していただける店舗を伊勢茶銘柄販売店として認証しています。

ご希望の方は、以下の要領に基づき申請していただきますようよろしくお願いします。

また、現在認証店になっている方は、令和8年3月31日が更新日となっていますので、郵送された確認書類により手続きをお願いします。

- 1 応募方法 「伊勢茶銘柄販売店認証事業実施要領」（三重県茶業会議所HP掲載）に基づき、必要書類をそろえて三重県茶業会議所へ申請してください。
- 2 申請書類 認定申請書、申請者の概要書、推薦書（会議所会員組織の構成員以外の方が申請する場合に必要）、誓約書
- 3 問合せ先 三重県茶業会議所 担当 後藤、奥山
津市栄町1-960 JA三重ビル7階 全農みえ内
TEL 059-226-8551 FAX 059-227-9654
- 4 認証店には、伊勢茶ポスター（2種B2）、伊勢茶ののぼり（3色各1枚）をお渡しするほか、三重県茶業会議所のホームページへの掲載（リンク等）も予定しております。

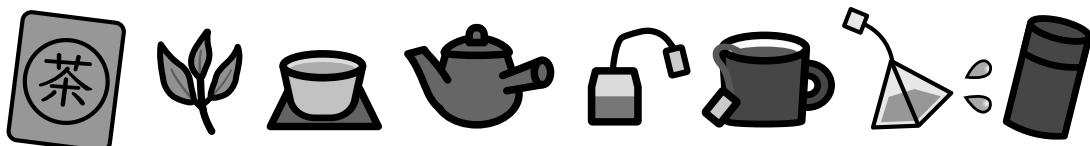
ティーバッグ加工・ ティーバッグ個包装充填加工 承ります。



茶袋の作成から各種ティーバッグ加工・
ティーバッグ個包装充填加工まで幅広く
対応いたします。

お気軽にご相談ください。

担当：村林 090-7607-4666



M 株式会社タマヤ 有限会社 村 幸

〒515-0025 三重県松阪市和屋町330-4
TEL0598-28-2250 FAX0598-28-4778

※自社工場にてティーバッグ加工・ティーバッグ個包装充填加工を行なっています。

大事な茶樹を病害虫から守る！！

三重県農薬商業協同組合

理 事 長 中 村 剛 明

副 理 事 長 青 木 貴 行

副 理 事 長 加 藤 真 八

事務所 津市あのつ台4丁目7-5

西部アレフ株式会社内

TEL 059-233-1777

FAX 059-233-1778

おいしいお茶に最適の肥料を！！

三重県肥料商業協同組合

理 事 長 加 藤 真 八

副 理 事 長 九 鬼 十三男

常 務 理 事 丹 羽 通

事務所 伊勢市中島2丁目4-13

丹羽商事株式会社内

TEL 090-4758-0533

FAX 0598-21-7136

OCHIAI もっと手早く、高度な作業。さあ、あなたの茶園に確かな未来を築こう。



NEW

乗用型摘採機(コンテナタイプ)
OHC-11VB・33VB型

■コンテナ容量／11VB型：2.2m³、33VB型：2.8m³

Vブローブラシ方式により
高速摘採が可能に!
大容量コンテナ摘採機!

NEW

乗用型摘採機(コンテナタイプ)
OHC-5DVBI型
(低床タイプ)

■コンテナ容量／1.6m³



傾斜地に強い!
低い運転席で
バツグンの安心感!



茶摘機・茶園管理機
落合刃物工業株式会社

本社・工場／静岡県菊川市西方58 ☎(菊川)0537-36-2161(代)FAX35-4643
関西亀山営業所／三重県亀山市布気町字山之下1500 ☎(亀山)0595-82-0505
九州福岡営業所／福岡県八女市大字室岡449-1 ☎(福岡)0943-25-7010
九州鹿児島営業所／鹿児島県霧島市溝辺町崎森2958-1 ☎(鹿児島)0995-64-1122
<http://www.ochiai-1.co.jp/>

2005 750

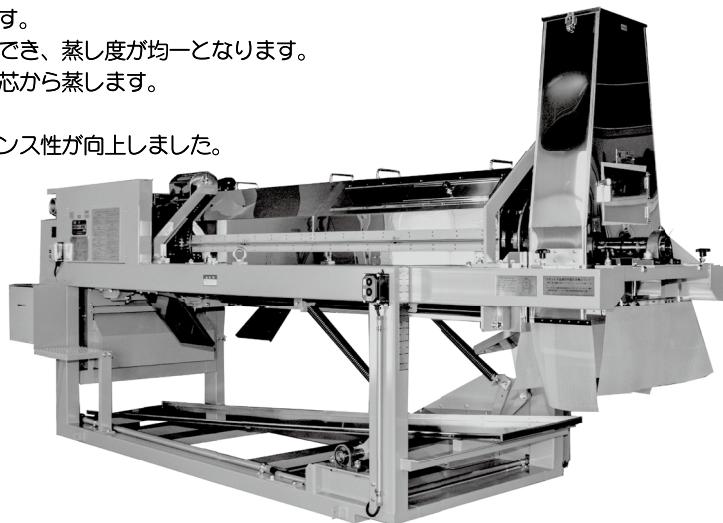
KOWOSOKI



保温型回一タリ蒸機 H-MRW / 3in1

蒸胴と回転蒸気噴出胴が別々に駆動する蒸機

- 「蒸す」と「蒸らし」が別々に調整できます。
- 大型生葉にしっかりと蒸気を当てることができます、蒸し度が均一となります。
- 回転蒸気噴出胴内でしっかりと蒸気を当て芯から蒸します。
- 蒸気量が削減でき省エネに寄与します。
- シンプルなフレーム構造により、メンテナンス性が向上しました。

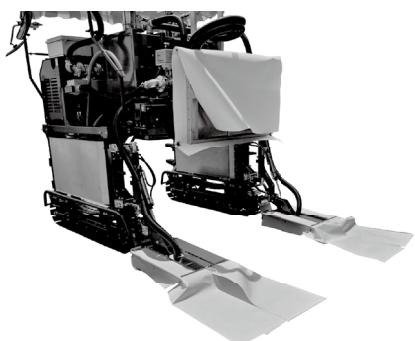


回転蒸気噴出胴回転用ギヤー

乗用型防除機 KJST8

有機栽培茶園の除草対策に

- ボイラーで沸騰させた蒸気を畠間に直接吹き付けますので、茶樹を枯らすことなく雑草のみを枯らすことができます。
- 除草作業後24時間程度で、効果を確認することができます。
- 繰り返し除草作業を行うことにより、雑草の生えにくい茶園になります。



カワサキ機工株式会社

本部〒436-0005 静岡県掛川市伊達方 810-1 TEL 0537-27-1791 FAX 0537-27-1716